

不撓不屈



学校教育目標 誠実・健康・努力

発行 釜石市立唐丹中学校

第28号

唐丹町字小白浜3 1 4

電話 0193-55-2106

文責 校長 八木稔和



富山県朝日町の中学生と オンライン交流

1月26日、1, 2年生15名は、富山県朝日町立朝日中学校の2年生71名とオンライン交流を行いました。朝日中の生徒とのオンラインでの交流は昨年に引き続き2回目になります。朝日町は富山県の東端、新潟県と接し、日本海に面しながら南は長野県白馬村と隣接する海あり山ありの自然豊かな町だそうです。10年に1度の大寒波の影響を受け、大雪のために前日は休校だったそうですが、そのような大変な状況の中でも、交流会の実現に向けて準備を進めていただき、ありがたかったです。

会の進行は1年生の津田紗良さんと香川真紀さんが務め、まずは朝日中からの発表。朝日中学校の学校生活や行事について詳しく説明されました。続いたの唐丹中からの発表は、2年生が防災学習の取り組みについて発表しました。土砂災害の種類や特徴、災害に備える大切さや災害が起こった時にどのように行動すべきかについて発表しました。また、ベルマークを回収し、被災地支援に役立てた実践についても紹介しました。

進行をはじめ発表の声が歯切れよく、内容も分かりやすくまとめられ、相手に「伝える」ことがよく意識されていました。互いの学校への質問、意見も多く出され、両校にとってとても意義深い交流会となりました。



- ◇給食などの日常のことや、登山、体育大会などの行事まで幅広く紹介してくれてわかりやすかったです。クイズも楽しく、新しいことを学べてよかったです。次回機会があれば富山の方言なども知りたいです。(1年 日野 涼介さん)
- ◇この交流を通して富山県ならではのサラダの名前が「元気ですか」という意味だと知って驚きました。他にも、登山をしたときに山つつじという花や動物の足跡があったという説明が心に残りました。朝日中との交流を通してたくさんを知れて勉強になりました。(1年 金野 悠人さん)
- ◇朝日中の人たちは豪雪以外の災害の備えはあまりしていないと話していたので、防災の大切さについて私たちなりにわかりやすく伝えられたと思いました。オンライン交流をいろいろな都道府県の人たちと行い、互いの防災の取組を教えあったり学校の紹介をしてみたいと思いました。(2年 中居林 杏奈さん)
- ◇みんなで登山をしたり、唐丹中にはない楽しそうな行事がたくさんあり私も経験してみたいと思いました。朝日中学校の方々には、防災について地域の方々にもぜひ発信、共有してほしいと思いました。(2年佐々木優衣さん)